

# がん化学療法処方

プロトコール名： 大腸癌Ramucirumab+FOLFIRI療法(1クール14日)  
(下に実際の投与方法を記載)

投与日 d1	薬品名	投与経路	投与時間
	① 生理食塩液100mL (点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服)	div	30分
	② サイラムザ点滴静注液8mg/kg + 生理食塩液250mL 調製完了後13時間以内に投与完了 0.2又は0.22 $\mu$ mのインラインフィルターを使用 2回目以降は30分で投与可能	div	60分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	④ パロノセトロン静注0.75mg+デキサート注射液9.9mg+5%ブドウ糖液50mL	div	15分
	⑤ レボホリナート点滴静注ト 200mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液250mL	div	120分
	⑥ トポテシン注 180mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液250mL レボホリナートとトポテシンは同時に滴下開始	div	90分
	⑦ フルオロウラシル注 400mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液50mL 点滴50mlにして5分で急速点滴	div	5分
	⑧ 5%ブドウ糖液50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑨ フルオロウラシル注 2,400mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液100mL 携帯用ポンプで全量100mlに調製	div	46時間

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)